

9月 議会のあらまし

会期 9月1日～29日

議案

- 条例の一部改正2件
 - ・ 幸田町職員の育児休業等
 - ・ 幸田町子ども医療費の助成

● 補正予算

- ・ 一般会計(第2号)
- ・ 特別会計(4会計)

● 令和3年度決算認定

- ・ 一般会計
- ・ 特別会計(6会計)
- ・ 企業会計(2会計)

● 人事案件

- ・ 幸田町固定資産評価審査委員会の委員選任

報告第4

財政の健全化判断比率等

陳情

2件を審議し、1件を採択した。

最終日の追加議案

- 一般会計補正予算(第3号)

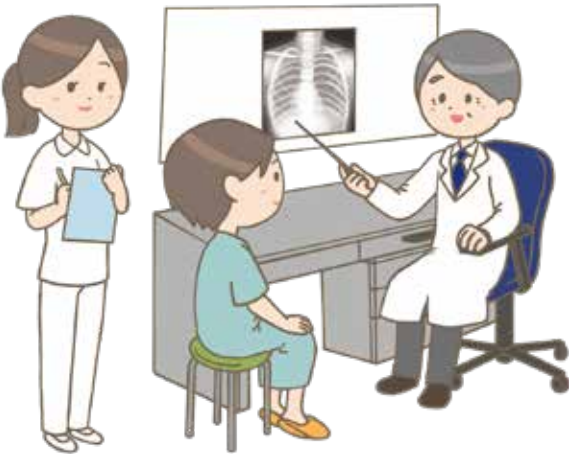
● 議員提出議案

採択した陳情に対して、国へ意見書を提出。

以上議案を慎重審議し、全てを可決、認定、選任、採択した。

一般質問

8人の議員が町政全般に関する課題をたじた。



高校生等通院費無料に

令和5年1月1日から

幸田町子ども医療費の助成

可決

高校生等の疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図る。

高校生等とは、15歳に達する日以降の最初の4月1日から18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある人。

問 受給者証の発行は。

答 12月中には手元に届ける予定。

問 受給者証で治療を受けられる医療機関は。

答 愛知県内どこの市町村でも可能。県外で治療を受けたときは、後日申請により還付できる。

幸田町職員の育児休業等

可決

非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和。

固定資産評価審査委員会の委員選任

同意

任期 令和5年1月1日から3年
 たにかわ 谷川 芳美 氏(高力区)

陳情

採択

・ 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める。

一般会計補正予算(第2号) 追加3億5321万5000円

可決

歳入

● 国庫支出金

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金

1億4943万2000円

● 県支出金

69万6000円

● 繰越金(前年度決算確定による)

9億1386万4000円

●繰入金（財政調整基金）
減額7億4908万2000円

歳出（主なもの）

新型コロナウイルス感染症対策とともに、最近の物価・光熱費高騰により、給食の質の維持と、公共施設等の光熱費の負担増を補助。

●認定こども園等給食事業費支援（12施設）
1080万円

●保育園給食賄材料費支援（8園）
360万円

●学校給食会委託料
1234万円

●小学校修学旅行キャンセル料補助
813万4000円

●「ハッピーネス・ヒル・幸田」運営補助金
7381万4000円

●飲食店等応援チケット発行事業
1億2130万円

問 応援チケットの内容は。

答 全町民に2000円分を配布。町商工会加盟の飲食店、飲食材料取扱店で利用できる。

問 利用期間は。

答 令和4年11月1日から令和5年2月28日まで。

●防災施設等整備事業

モバイル建築型ユニット（移动式仮設住宅）6棟の寄付を受けた設置事業。

三ヶ根駅東口広場に3棟、消防本部に2棟、清幸園に1棟を設置。
433万6000円

●全国道の駅連絡会へ職員研修派遣
将来、地域活性化の拠点として、滞在型宿泊施設の誘致を目指し、人脈作りと情報収集。
78万円

●長嶺地区測量及び造成概略設計等
2910万円

問 地権者、地域役員など協力体制はできているか。

答 地権者の皆さんの合意の上、地域役員も含め、工業団地化を推

進している。

問 今後の進め方は。

答 県企業庁に働きかけていく。

一般会計補正予算（第3号）
追加1億390万円



歳入

●国庫支出金
1億390万円

歳出

●電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業
1億390万円

住民税非課税世帯1900世帯と家計急変世帯100世帯、1世帯に5万円を緊急支援する。

問 支給を受けられる時期は。

答 11月より手続きを開始、12月から順次支給していく。

賛否の分かれた議案		議席番号															議長	議決結果 (賛成:反対)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
議案		議員名																	
第48号議案	令和4年度幸田町一般会計補正予算（第2号）	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稲吉 照夫	杉浦あきら	都築 一三	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	—	可決 (14:1)
陳情第11号	防衛省によるミャンマー国軍士官・士官候補生の受け入れ中止を求める意見書の提出を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択 (1:14)	

※議長は賛否に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、可決・否決を決めることができます。